

# 認定看護師便り

蒲郡市民病院 看護局

脳卒中は、発症から治療開始までの時間が短ければ、症状の進行を防ぎ、合併症を予防することができる病気です。脳卒中は死因の第3位から第4位へと低下しました。しかし、**寝たきりになる疾患の第1位**にかわりはありません。大事な家族が寝たきりになることを予防するためにも、脳卒中の症状を早期に発見することが大切です。今月は、脳卒中にみられる症状を紹介します。身近な方にその症状が見られたら、迷わず病院へ受診しましょう。

## 脳卒中の初期症状 (FAST)

### F : Face 顔の麻痺

顔の片側が下がったり、ゆがみがでていないか？にっこり笑ってうまく笑顔が作れるか？確認してみましょう。



### S : Speech ことばの障害

呂律が回らなかったり、言葉がでずしゃべれないか？また他の人の言うことが理解できず、質問と違う答えが返ってきているか？短い文章がいつも通り話すことができるか確認してみましょう。「今日はいい天気」と言ってもらいましょう。



### A : Arm 腕の麻痺

片側の腕に力が入るか？手のひらを上にして両腕を上げて伸ばしたままにできるか？を確認してみましょう。



### T : Time 発症時刻

脳卒中は、発症から4.5時間以内であれば、脳梗塞では、血栓溶解療法ができます。また、症状の進行を防ぐことができ、機能回復にも効果が高いと言われています。発症時刻が正確にわかることで、医師が治療法を検討する際に重要な情報となります。脳卒中の初期症状は、自分では気づくことができないこともあります。周囲の家族の方が早期に症状に気づくことも大切となります。脳卒中は、**Time is Brain**と言われるほど、早期発見、早期治療が大切な病気です。このような初期症状がみられたら、一刻も早く病院へ受診しましょう。受診時には、発症時刻を医師へお知らせください。

